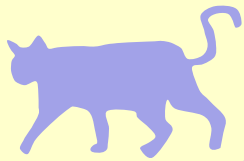
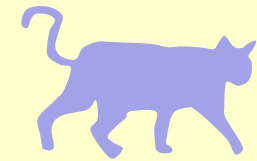


# レポート・卒論のレシピ ～構成編～



図書館学習サポーター一月4担当  
教育学研究科 修士2年  
矢部寿基

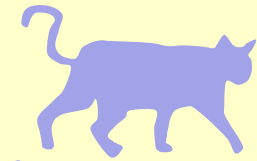
# 4年の今頃の自分



テーマも決まってる！  
いろいろ文献も探した！  
アンケートもとった！  
あとは書くだけだ！



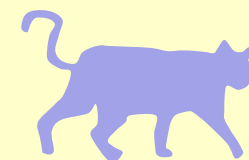
でも……



あれ……？  
卒論って何をどう書けば  
いいんだろう……？



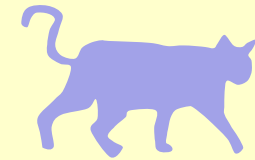
そこで！



卒論・レポートのヒケツ、  
こっそりお伝えします！（・ワ・）/

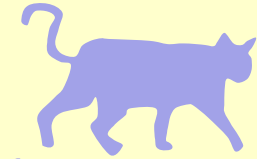


# 自分が伝えたいこと



1. テーマの決め方って？
2. 卒論やレポートの構成って？
3. どうやって書いていけばいいの？
4. レポート・卒論のはじめにすべきこと

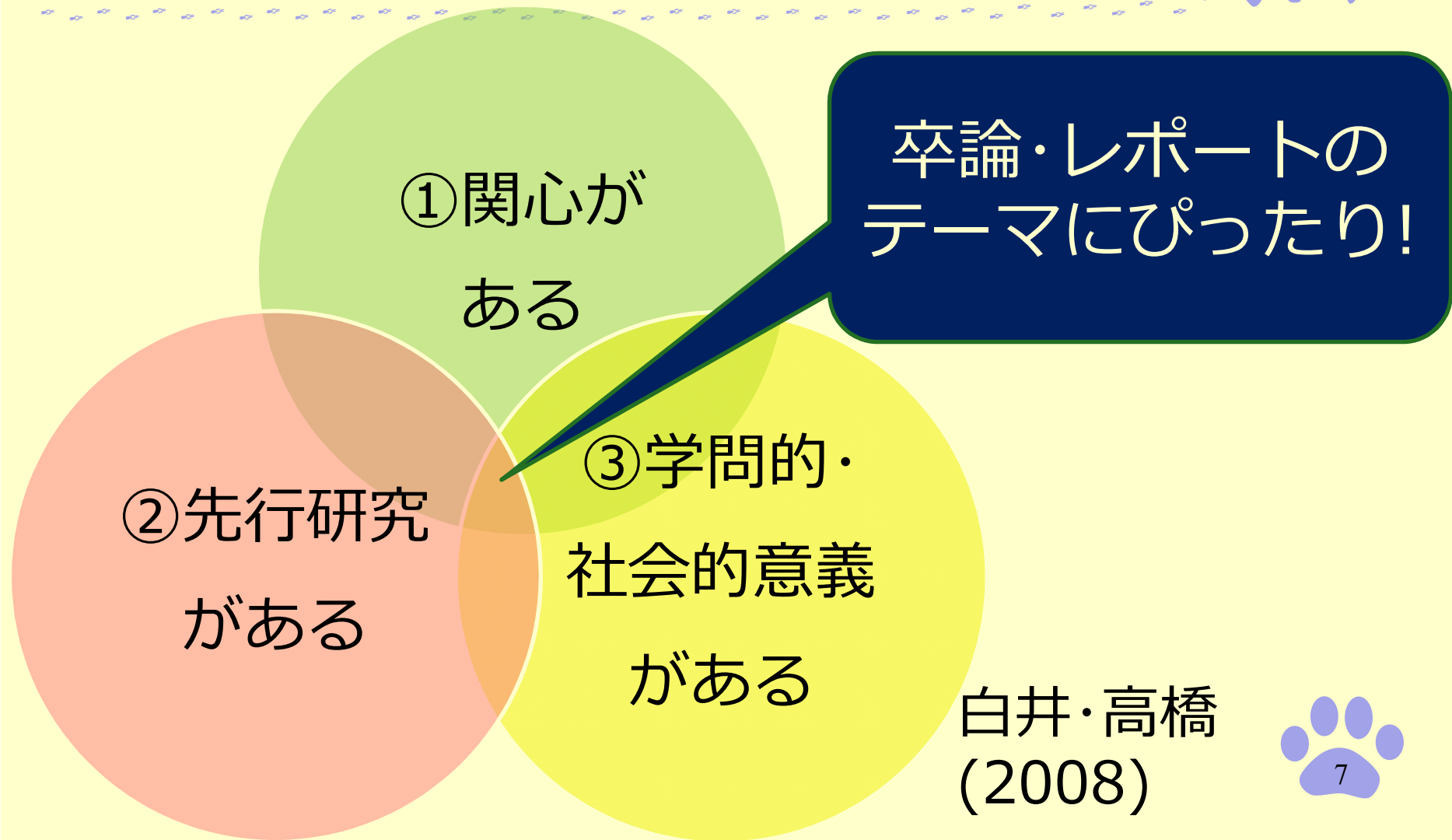
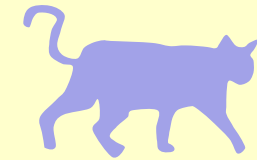




ちょっと待って！  
自分はテーマすら  
まだ決まってるよ……



# 1. テーマの決め方って？



白井・高橋  
(2008)



# テーマの見つけ方



1) 興味がある項目を書き出す!



2) 先行研究をcheck!



3) 自分の研究の“新しさ”は?



4) 現実的な範囲で具体化する

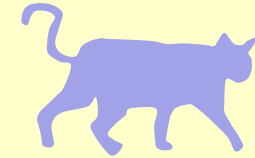
- OPAC
- CiNii
- Google scholar etc...





例

—教育学部英語科の学生の一例



1) 小学校英語, ICT, 特別支援教育



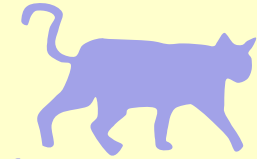
2) デジタル教材の効果, 授業のUD



3) 小学英語でICTとUDを入れよう!



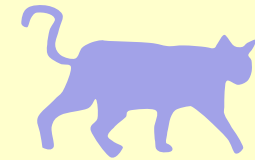
4) 実際の学校で行える授業に!



テーマは思いついた！  
でも、何を書けばいいの？



## 2. 卒論やレポートの構成って？



序論

- ①はじめに
- ②先行研究より

全て自分の主張をより強いものにするためのもの

本論

- ③方法
- ④結果
- ⑤考察

結論

- ⑥おわりに

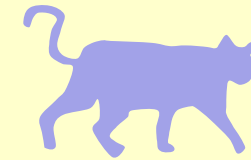


※学部や学科，研究室等によって構成は異なります。



# 序論

## “問い”の部分



### ①はじめに

—研究の背景(本研究の動機・必要性,世の中でされている関連研究等), 問題提起, 研究の目的

西井(2016)

### ②先行研究より

- これまでどのような研究が行われたか。
- この研究では何を調べるのか。
- なぜこの研究を行う意義があるのか。

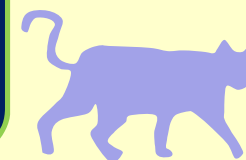


※①と②が1つにまとまる場合も。



本論

“答えを導く議論”の部分



### ③方法

—どんな方法で調査・分析するか。対象は何か。  
なぜその方法なのか。

### ④結果

—どのような結果が出たのか。

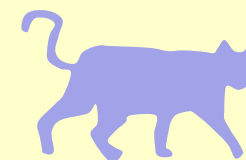
### ⑤考察

—結果から何が分かったのか。



結論

“答え”の部分

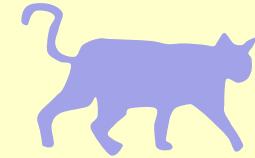


## ⑥おわりに

- 今回の研究でわかったこと
- 今回の調査の限界
- 今後に向けて



# 例



- ①はじめに —特別支援教育と小学校英語の開始
- ②先行研究より—UDLやICTを取り入れた授業の効果
- ③方法 —対象や環境，評価方法について
- ④結果 —アンケートの結果
- ⑤考察 —結果よりICT+UDL=よりよい授業
- ⑥おわりに —選択肢の1つとして取り入れるべき

※学部や学科，研究室等によって構成は異なります。



## 他にも……

論文執筆にお世話になった人々  
— 感謝(だいたいテンプレ)  
— 指導教官, アンケート・実験  
協力者, ゼミ・学科の仲間etc…

### 【本文前】

- ・ 要旨
- ・ 目次
- ・ 図一覧
- ・ 表一覧

### 【本文後】

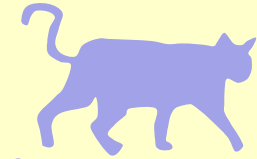
- ・ 謝辞
- ・ 注釈
- ・ 参考/引用文献一覧
- ・ 付録

レポート  
でも  
不可欠!

- ・ タイトル
- ・ 研究のキーワード
- ・ (1)何を目的として, (2) 何を行い,  
(3) どういう結果を得たか 西井(2016)



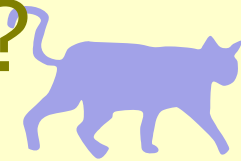




卒論に書くべきことは分かった!  
でも、書くこと多すぎ……  
何から手を付ければいいのか?



### 3. どうやって書いていけばいいの?



1) 仮の小見出しを作る



2) 小見出し毎に箇条書き



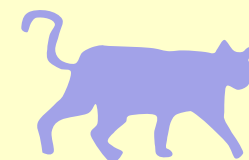
3) 書きやすいところから執筆！



4) 推敲⇔修正



# 例(卒論より)



## 3. 方法

### 3.2 授業実践について

#### 3.2.1 対象について

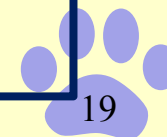
- 外国語活動が導入された5学年
- 統制群と実験群の違い(ICTの有無)
- 普段の外国語活動の様子


#### 3.2.2 指導内容について

#### 3.2.3 使用教材について

小見出し

箇条書き



書きやすいところから書くべし！ 

論理の組み立てが不可欠だから！

—大目的, 必要性, 問題提起, 事例紹介, 本研究の目的  
西井(2016)

序論「①はじめに」：意外と書きづらい……

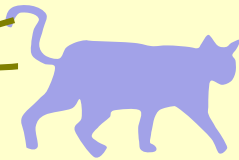
本論「③方 法」：書きやすい！

事実を淡々と述べるだけ！

→書きやすいところから書いた方が  
流れに乗れるし, 後々困らない！！



## 4. レポート・卒論のはじめにすべきこと



1)項目ごとに柱立て！

—小見出しや箇条書きで設計図作り！

2)参考文献の検索・整理

—プリントアウト・コピー

—Excelなどで文献リスト作成

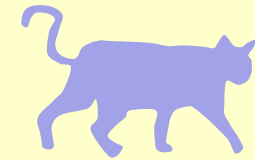
学内から「CiNii」で検索  
→図書館がその資料を所蔵  
しているか分かる！

3)自分の考えと他者の考えを分けて記録！

—混ぜてしまうと**犯罪行為(剽窃)**！



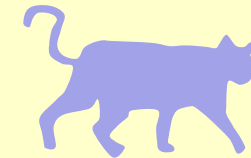
# まとめ



- ① テーマは「**興味がある事柄**」を中心に見つける！
- ② 卒論もレポートも構成は「**序論・本論・結論**」で！
- ③ 「**小見出し**」や「**箇条書き**」で「**本文の設計図**」を作り、書きやすい項目から書く！
- ④ とりあえずまずは動きだそう！書きだそう！



# 参考文献



- 白井利明, 高橋一郎(2013), 『よくわかる 卒論の書き方 第2版』, ミネルヴァ書房.
- 慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員(2014), 『学生による学生のためのダメレポート脱出法』, 慶應義塾大学出版会.
- 西井淳(2016), 論文の書き方の掟, <http://bcl.sci.yamaguchi-u.ac.jp/~jun/download/texts/paper.pdf> , (閲覧日:2016年11月7日).

